

平成23年 第7回県教育委員会会議
教 育 長 報 告

1 報告事項

平成23年度 公立学校教職員定期人事異動の概況について

2 事項の説明

(1) 人事異動の基本的な方針

- ① 全県的視野に立った広域交流に努める。
- ② 各学校の課題解決を図る人事異動に努める。
- ③ 特色ある学校づくりのための人事配置に努める。
- ④ 男女バランス、年齢等の職員構成について考慮する。
- ⑤ へき地校への異動促進を図る。

(2) 定期人事異動の概況

<校種別の内訳>

校 種	職員数 (人)	異動者数 (人)	異動率 (%)	前年度異動率 (%)
小学校	4, 187	1, 112	26.6	24.5
中学校	2, 633	653	24.8	24.0
高等学校	3, 726	923	24.8	22.2
特別支援学校	1, 195	300	25.1	26.6
合 計	11, 741	2, 988	25.4	23.8

- ① 定期人事異動は原則5年としており、公立学校本務教職員数11,741人中2,988人が異動し、異動率は25.4%（前年度は23.8%）となっている。
- ② 退職者数は、小学校が215人、中学校が93人、高等学校が135人、特別支援学校が50人で合計493人である。（前年度は487人）
- ③ 管理職への昇任は、校長95人(7)、教頭85人(17)、合計180人(24)である。
* H23 受験者数 校長・教頭 561(78) 合格者数230(39) 合格率41.0(50.0)
H22 受験者数 校長・教頭 587(90) 合格者数248(56) 合格率42.2(62.2)
- ④ 事務長への昇任は、課長相当職2人(1)、班長相当職5人(0)である。
※ () 内の数字は女性で内数
- ⑤ 新たな職について、副校長は、小中学校3人、高等学校3人、主幹教諭は、小中学校7人、高等学校3人、特別支援学校3人の配置を行った。
- ⑥ 新規採用者数は、教諭487人、養護教諭25人、事務職員32人、学校栄養職員16人、その他職員28人 合計 588人（前年度：354人）である。
- ⑦ 高等学校においては、養護教諭26校、教頭26校の複数配置を行った。
- ⑧ 栄養教諭については、単独調理場7人、共同調理場24人の配置を行った。

(3) その他

- ① 小中学校においては、児童生徒数や学級数に応じて配置される基礎定数とは別に指導方法改善加配等の定数を473人を配置することで、学校が抱える教育課題の解決に向けて取り組んでいる。
- ② 小学校1・2年生については、少人数学級(40人学級編制に比べ184学級増)を実施することできめ細かな指導の充実を図っていく。